

製品取扱説明書

この度はSeymour Duncan PowerStage™ 200 -Pedalboard Guitar Amp-をお買い求め頂き誠にありがとうございます。

この機器の優れた機能を十分ご理解いただくためにも、取扱説明書をよくお読みください。取扱説明書は必要なときにすぐ見ることができるよう、手元においてください。

POWER STAGE 200は近年盛り上がりを見せるモデリングデバイスや高品質なペダルを使用するプレイヤーに向けて、ペダルボードに取り付けたりギグバックに直接入れて持ち運び可能な小型かつ高い品質を持ち合わせたペダル型200Wアンプです。信頼性やクリーンな電源は勿論、イコライザー、キャビネットシミュレーター、Aux In、ヘッドフォンアウトなど、様々なシチュエーションの現場に参加するギタリストが必要とする機能を搭載しました。

チューブレスのパワーアンプですが、従来の無機質なサウンドではなく真空管アンプのような暖かく深みのあるサウンドを出力し、家のベドルームで練習する様な小さな音から、ライブハウスなどの大きな会場で使用した場合にも安定した性能を発揮する事が可能です。またバックパネルに2つの1/4インチスピーカー出力を備えており、複数のキャビネットを繋ぐ事ができます。インピーダンスの調整は内部で行われるためキャビネットにスピーカーケーブルを繋ぐだけで使用出来る等、POWER STAGE 200には様々な環境でシンプルかつ柔軟な使い方が出来る機能が搭載されています。

・**DI (XLR) アウトプット：キャビネットシミュレーター** - 多くのギタリストがさまざまな場所で演奏する事を念頭に置き、キャビネットシミュレーター(4×12クローズドバック)を備えたDI (XLR) 出力ジャックを搭載しています。どのような環境でも自分のトーンをマイク無しで客席や、モニタリングシステムに送信する事が出来ます。

・**3バンドイコライザーとプレゼンスコントロール** - よりモダンなサウンドメイクに対応する為、従来の3バンドイコライザーに加えプレゼンスコントロールを追加しました。

・**独立したキャビネットシミュレーターとイコライザーのバイパススイッチ** - キャビネットシミュレーターやEQセクションに搭載されたバイパススイッチを使用することで、IRデバイスやモデリングEQなど外部のハードウェアやDTM内のソフトウェアを使いレコーディングする事が可能です。

・**Aux In/ヘッドフォンアウト** - POWER STAGE 200のバックパネルにはAux Inとヘッドフォンアウトが搭載されており、自宅や外出先のホテルの部屋でドラムグループ、パッキングトラック、またはお気に入りのアルバムと一緒にジャムを楽しみながら、練習する事が出来ます。ヘッドフォンの音量は上部にあるツマミで調整可能ですので好みのバランスで演奏が可能です。

POWER STAGE 200は、様々なDUNCAN PICKUPを創りあげたチームによりカリフォルニア・サンタバーバラの自社工場にて製作されています。

各部の名称と働き

Top Panel

1.Level Control - アンプの出力を調整します。

2.Bass Control - 低音域を調整します。 +/-10dB @ 87Hz

3.Mid Control - 中音域を調整します。 +/-10dB @ 645Hz

4.Treble Control - 高音域を調整します。 +/-8.5dB @ 4.4kHz

5.Presence Control - 超高音域を調整します。 +/- 6.5dB @ 11.6kHz

6.Head Phone Level Control - バックパネルにあるヘッドフォンアウトの音量を調整します。

7. Pre-Post EQ On-Off Button - Pre-Post EQのOn-Offを切り替えます。

※Head Phone Out/Balanced Line Outに対して効果のあるEQのOn-Offを切り替えます。

※Speaker Output Jackから出力される信号には影響はありません。

8. Cabinet Simulation On-Off button - キャビネットシミュレーターのOn-Offを切り替えます。(4x12 close back)

※Head Phone Out/Balanced Line Outに対して効果のあるキャビネットシミュレーターのOn-Offを切り替えます。

※Speaker Output Jackから出力される信号には影響はありません。

9.Power Indicator - 電源がOnになると青いLEDが点灯し、Offになると消灯します。

10.Power Amp Clip/Over-Current Indicator - 二つの機能があるインジケータです。

・パワーアンプがクリッピングポイントから1dB以内にある際に点灯します。

・過電流状態が存在する場合常時点灯します。

※詳細は「保護機能」の説明を御確認下さい。

11.Pre-Amp Clip/Status Indicator - 二つの機能があるインジケータです。

・プリセクションからの信号がクリッピングポイントから6dB以内にある際に点灯します。

・電源/パワーアンプモジュールのステータスに異常があると点灯します。

継続的に点灯している場合は1つ以上の問題が有り機能がシャットダウンしています。

※詳細は「保護機能」の説明を御確認下さい。

Back Panel

12.Input Jack (1/4Inch Mono) - ギターからの信号や、プリセクションからの信号を接続します。

13.Aux In - ポータブルミュージックプレイヤーやPCを接続し、ヘッドフォンアウトからギターの信号と一緒に出力する事が出来ます。

※こちらに接続する機器の音量は個々に調整する必要があります。

14.Head Phone Jack (1/4Inch Stereo) - ヘッドフォンを接続します。

15.Balanced Line Output (Male XLR) - XLRケーブルを接続します。

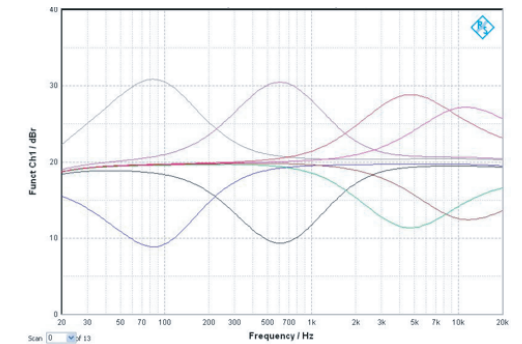
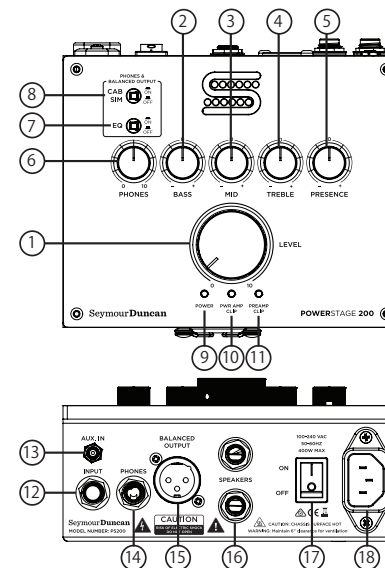
16.Speaker Output Jack (Dual 1/4" mono) - スピーカーケーブルを接続します。

17.Power Switch - 電源のON/OFFを切り替えます。

18.Power Cord receptacle - 電源ケーブルを接続します。

※必ず付属の電源ケーブルをお使い下さい。

※他社製の電源ケーブルを使用して本機が破損した場合、保障の対象外になります。



Tone Control Response

使用方法

※下記説明を参照しながら接続を行ってください

Power Stage 200からキャビネットへの接続方法

- 必ず高品質なスピーカーケーブルを使用し、通常のギター用ケーブルは絶対に接続しないで下さい。
- パワーアンプはブリッジタイロッド構成で動作しますので、パワーアンプとスピーカーの接続でアース接続を行わないで下さい。

警告！4Ω未満のインピーダンスには対応していません。

使用前の確認

- レベルコントロールを0にします。
- 安全情報に記載されているすべての注意事項を守り電源コードを接続してください。
- 電源スイッチをONにし、青いLEDインジケータが点灯したらアンプを使用準備が完了です。
- 赤色のLEDが点灯したままの場合は、電源をオフにしてスピーカーケーブルを抜いてください。

※抜いた状態で電源をONにしてみてもLEDが消えれば、ケーブルにショートや断線などの症状がある可能性があります。

- プリアンプクリップインジケータ(左から3番目のLED)を使用して、適切な入力レベルを設定します。

LEDが点灯する直前までプリセクションの出力を上げます。

※設定後PS-200のEQを調整した場合は再設定が必要な場合があります。

- レベルコントロールをゆっくり上げて音量バランスを整えてください。
- 最後の調整としてEQを調整し、サウンドの補正を行います。

警告！このアンプは、非常に高い音圧レベルを生成することができます。

高い音圧レベルに継続的にさらされると、永続的な聴覚障害を引き起こす可能性があります。

長時間使用する場合は安全なリスニングレベルに設定するか、イヤープラグなどを使用し聴覚保護をして下さい。

取り扱い終了後の注意

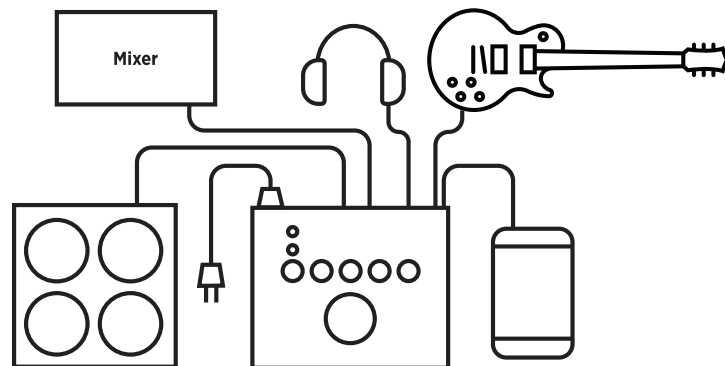
- LEVEL CONTROLを0にした状態で電源をOFFにして下さい。

ケーブル類は電源OFF後に外すようにして下さい。

警告！

アンプは長時間の使用後に高温になる可能性があります。

取り扱い前に十分な冷却時間とってください。



Connection Guide

保護機能

このアンプには、不測の事態に備えて回路を保護する機能を搭載しています。

パワーアンプクリップ/過電流/過熱インジケータ

このLEDが点灯している際は次のことを示します。

- パワーアンプのクリッピング
- パワーアンプの電流制限
- パワーアンプの過熱警告

このLEDの点灯は、次の原因で発生する可能性があります。

- スピーカーケーブルのショート。
- スピーカーのボイスコイルとマグネットのショート。
- 出力信号のショート。
- 最大定格を超える総スピーカーインピーダンス。(スピーカー/キャビネットの並列組み合わせ)
- レベルコントロールの設定が高すぎる。
- 内部の故障が考えられます。

熱保護回路：

出力段と電源の温度が125°Cに近づくと、インジケータが点灯し続けます。

温度が150°Cに達すると回路がシャットダウンされ使用できなくなります。

120°Cを下回るとリセットされ再起動します。

温度が上がる要因は下記の原因が考えられます。

- アンプ周辺の空気循環が悪い。
- 通気口が塞がれている。
- 冷却ファンが止まっている。
- 周囲温度が高すぎる。
- 高電力と相まって、出力の高負荷(低インピーダンス負荷)がかかる。
- 上記のいずれかまたはすべての組み合わせ。

プリアンプクリップ/ステータスインジケータ

このLEDが点灯している際は次のことを示します。

- プリアンプのクリップ

入力信号がクリッピングレベルより6dB以内にあると、LEDが点灯し始めます。

※このLEDが信号のピーク時に点灯するように、PS200に入力するオーディオデバイスの出力レベルを調整する必要があります。

- 保護回路の作動

アンプに高い負荷が発生すると、LEDが点灯し自動的にシャットダウンします。

このLEDの点灯は、次の原因で発生する可能性があります。

- スピーカーのショートにより過電流状態になった時。
- 高負荷をかけ続けることによる過熱状態になった時。
- 不十分な空気の換気による過熱状態になった時。
- 内部の故障が考えられます。

※修理については全国のSEYMOUR DUNCAN取扱店にお問い合わせください。

セイモア・ダンカン日本総代理店(株)イー・エス・ピー www.espguitars.co.jp

・ESP 営業本部 〒354-0046 埼玉県入間郡三芳町竹間沢東3-9 TEL 049-274-3810 (代)

・ESP 大阪営業 〒530-0023 大阪府大阪市北区黒崎町1-15 TYビル201 TEL 06-6359-0455 (代)

